



# 製品安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

- 1.1. 製品名 : 石原ドウジガード 1 キロ粒剤 75  
(クミルロン・ベンスルフロメチル・ペントキサゾン粒剤)
- 1.2. 用途 : 除草剤
- 1.3. 会社情報 : 会社名 石原産業株式会社  
住所 大阪市西区江戸堀 1 丁目 3 番 15 号  
担当部門 三重県四日市市石原町 1 番地  
石原産業株式会社環境・安全衛生統括部  
電話:059-345-6205 FAX:059-345-6206
- 1.4. 緊急連絡先 : 石原産業株式会社四日市工場 有機生産部バイオサイエンス生産技術グループ  
電話:059-345-6118 FAX:059-345-6180
- 1.5. 作成日 : 2011 年 5 月 6 日  
改訂日 : 2012 年 6 月 22 日①

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先 : 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1. GHS 分類

#### 物理化学的危険性:

爆発物	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	区分外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	区分外
有機過氧化物	分類対象外
金属腐食性物質	区分外

#### 健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類対象外
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない

生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	
水生環境急性有害性	区分1
水生環境慢性有害性	区分1
オゾン層有害性	分類できない

## 2.2. ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:	警告
危険有害性情報:	H400 水生生物に非常に強い毒性 H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性
注意書き:	<p><b>【安全対策】</b> 安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. 暴露防止及び保管措置」を参照。 P273 環境への放出を避けること。 使用前に製品ラベルの注意事項をよく読み使用すること。 環境への放出は避けること。 水田除草の目的のみに使用し、使用直後は水管理に注意し、河川への流出を避けること。 取扱いは保護具を着用すること。 使用後は手や顔を良く洗うこと。</p> <p><b>【応急措置】</b> 応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。 P391 漏出物を回収すること。 水田以外で誤って流出させた場合、流出物を回収すること。</p> <p><b>【保管】</b> 保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。 直射日光を避け、冷暗所に密閉して保管すること。</p> <p><b>【廃棄】</b> 廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。 P501 内容物／容器は、国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。 なるべく有効期間内に水田で使い切ること。 内容物または容器を廃棄する場合は、該当法規に従い都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。</p>

2.3. その他の危険有害性: 特になし

## 3. 組成及び成分情報

3.1. 単一製品・混合物の区分: 混合物

## 3.2. 成 分

一 般 名	クミロン	ベンスルフロン メチル	ペントキサゾン	アルキルサル フェート金属塩	その他の鉍 物質微粉等
化 学 名	1-(2-クロロベン ジル)-3-(1-メチ ル-1-フェニルエ チル)ウレア	メチル=α-(4,6-ジ メトキシピリミジン -2-イルカルバモ イルスルファモイ ル)-o-トルアート	3-(4-クロロ-5-シ クロペンチルオキ シ-2-フルオロフェ ニル)-5-イソプロ ピリデン-1,3-オキ サゾリジン-2,4-ジ オン	—	—
構 造 式	C <sub>17</sub> H <sub>19</sub> ClN <sub>2</sub> O	C <sub>16</sub> H <sub>18</sub> N <sub>4</sub> O <sub>7</sub> S	C <sub>17</sub> H <sub>17</sub> ClFNO <sub>4</sub>	C <sub>12</sub> H <sub>25</sub> O <sub>4</sub> SNa	—
含 有 率	12.0%	0.75%	3.9%	0.75%	82.6%
官報公示整理番号 化 審 法	農薬取締法に 規制される物質	農薬取締法に 規制される物質	農薬取締法に 規制される物質	(2)-1679	—
官報公示整理番号 安 衛 法	4-(13)-173	8-(2)-1338	8-(7)-1209	公表	—
C A S N o .	99485-76-4	83055-99-6	110956-75-7	151-21-3	—

## 4. 応急措置

### 4.1. 応急措置の記載

水田以外で誤って流出させた場合、流出物を回収すること。

吸入した場合 : 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、安静にし、保温する。  
多量に吸入した場合には医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着した部分を石けんでよく洗浄する。

目に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。  
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行  
渡るように洗浄する。

飲み込んだ場合 : 被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口に残っているもの  
は、ぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし、  
被災者に意識のない場合は、ものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

4.2. 最も重要な兆候及び症状 : データなし

4.3. 医師に対する特別な注意事項 : データなし

## 5. 火災時の措置

5.1. 消火剤 : 水、強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

5.2. 特有の危険有害性 : 燃焼または高温により有毒ガスが発生するおそれがある。

5.3. 消火方法 : 初期の火災には、水、粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。

大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

5.4. 消火を行う者の保護 : 燃焼または高温により有毒ガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を  
着用する。

## 6. 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際には保護具(暴露防止措置欄参照)を着用し、飛  
沫等が皮膚に付着しないようにする。

6.2. 環境に対する注意事項 : 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、処理後数日間は落水、かけ流しはしな

い。

6.3. 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法 : 床面にこぼれた場合は、直ちに拭き取り、空容器に回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 7.1. 取扱いの注意 : 取り扱う前には必ずラベルをよく読む。  
 通常の手扱いは危険性は低いですが、誤飲・誤食などないように注意する。  
 本剤取り扱い中に身体の異常を感じた場合には、直ちに医師の手当てを受ける。  
 取扱いの際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。  
 取扱い後は手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 7.2. 保管上の注意 : 直射日光を避け、食品と区別して低温で乾燥した場所に密閉して保管する。

## 8. 暴露及び保護措置

- 8.1. 管理濃度 : 設定されていない
- 8.2. 許容濃度 : 日本産業衛生学会及び ACGIH のいずれも設定されていない。
- 8.3. 暴露防止・軽減措置  
 設備対策 : 作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。
- 保護具 : 呼吸用保護具 防塵マスク  
 手の保護具 保護手袋(ゴム手袋)  
 眼の保護具 保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)  
 皮膚及び身体の保護具 作業衣、帽子、保護服

## 9. 物理的及び化学的性質

- 9.1. 外 観 等 : 類白色顆粒
- 9.2. 臭 い : 僅かに特異な臭い
- 9.3. pH : 10.2
- 9.4. 融 点 : データなし
- 9.5. 沸 点 : データなし
- 9.6. 引 火 点 : データなし
- 9.7. 可 燃 性 : データなし
- 9.8. 自然発火性・水反応性 : なし
- 9.9. 自己反応性・爆発性 : なし
- 9.10. 蒸 気 圧 : データなし
- 9.11. 蒸 気 密 度 : データなし
- 9.12. 比 重 : 0.9
- 9.13. 溶 解 度 : データなし
- 9.14. n-オクタノール・水分配係数 : データなし
- 9.15. 分 解 温 度 : データなし
- 9.16. 粘 度 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

- 10.1. 反 応 性 : 常温・常圧で安定。反応性なし。
- 10.2. 安 定 性 : 常温・常圧で安定。
- 10.3. 避けるべき条件 : データなし
- 10.4. 混触危険物質 : データなし
- 10.5. 危険有害な分解性生物 : 燃焼または高温により、有毒ガスが生成するおそれがある。

## 11. 有害性情報

- 11.1. 急性毒性 : 経口 LD<sub>50</sub> >2000mg/kg (ラット♀)  
 経皮 LD<sub>50</sub> >2000mg/kg (ラット♂, ♀)  
 吸入 データなし
- 11.2. 皮膚刺激性 : 刺激性なし(ウサギ)
- 11.3. 眼刺激性 : 軽度の刺激性あり、洗浄効果あり(ウサギ)
- 11.4. 感作性 : 皮膚感作性:皮膚感作性なし  
 呼吸器感作性:データなし
- 11.5. 変異原性 : データなし
- 11.6. 発がん性 : データなし
- 11.7. 生殖毒性 : データなし
- 11.8. 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データなし
- 11.9. 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし
- 11.10. 吸引性呼吸器有害性 : データなし

## 12. 環境影響情報

- 12.1. 生態毒性 : 水生環境急性有害性 コイ LC<sub>50</sub> >1000mg/L(96 時間)  
 オオミジンコ EC<sub>50</sub> 31mg/L(48 時間)  
 藻類 ErC<sub>50</sub> 0.81mg/L(72 時間)  
 藻類のデータに基づき、区分 1 とした。  
 水生環境慢性有害性  
 藻類のデータ及び原体の BCF>500 より、区分 1 とした。
- 12.2. 残留性・分解性 : データなし
- 12.3. 生態蓄積性 : データなし
- 12.4. 土壌中の移動性 : データなし

## 13. 廃棄上の注意

内容物／容器は、国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

- 13.1 内容物の廃棄 :  
 製品はなるべく使い切り、空容器は圃場などに放置せず水産動植物に影響の無いよう適切に処理する。  
 廃棄する場合には、都道府県知事の許可を受けた処理業者に委託する。
- 13.2 容器の廃棄 : 内容物を使い切った後、適切に処理する。

## 14. 輸送上の注意

- 14.1. 国際規制
- 国連番号 : 3077
- 国連分類 : 9
- 包装等級 : III
- 品名 : Environmentally hazardous substances, solid, n.o.s.(石原ドウジガード 1 キロ粒剤 75)
- 航空規制情報 : ICAO, IATA の規制に従う
- 海上規制情報 : IMDG Code の規制に従う
- 海洋汚染物質 : 該当
- 14.2. 国内規制
- 陸上規制情報 : 非該当
- 航空規制情報 : 航空法の規制に従う
- 海上規制情報 : 船舶安全法の規制に従う

## 14.3. 特別の安全対策

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。容器漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。水濡れに注意する。

緊急時応急措置指針番号:171

## 15. 適用法令

農薬取締法	:	農薬登録番号 第22857号		
毒物及び劇物取締法	:	該当しない		
消防法	:	該当しない		
労働安全衛生法	:	第57条の2(通知対象物質)	該当しない	
化審法	:	該当しない		
化管法	:	第1種指定化学物質	クミルロン(第124号)	12.0%(代表分析値)
		第2種指定化学物質	該当しない	

## 16. その他の情報

石原の農薬(石原産業株式会社)

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室

0120-1480-57(フリーダイヤル)

※石原バイオサイエンス(株)の全国の支店のうち、農家の皆様の最寄りの事業地にかかるようになっています。

主な引用文献:

- 1) ラベル・製品安全データシート作成実務必携 GHS 対応国内版(2007年6月 化学工業日報社)
- 2) [改訂第3版]緊急時応急措置指針(2009年9月(社)日本化学工業協会)
- 3) 農薬中毒の症状と治療法(1998年4月 農林水産省農産園芸局)

## 記載内容の取扱い

本MSDSの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。